

平成七年五月二十三日

福田名誉議長

シュミット議長

御列席の皆様

本日ここに第十三回OBサミット総会が開催されるにあたり、心から歓迎の意を表します。これまで国際社会の平和と繁栄を築き上げてこられた世界の先輩指導者の方々を我が国にお迎えすることができましたことは、私にとってこの上ない喜びであります。

この機会に今回の議論のお役にたてればと思い、今日の国際情勢に関し、一言私の考えを申し述べたいと思います。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 後 | 了 | 終 | 説 | 演 |
| と | の | こ | の | 使 |
| 注 | 意 | | | |

現在の国際社会を見ますと、冷戦の終了によって、イデオロギーの対立が世界を支配するといった時代は終わりを告げ、平和と安定のための新たなシステムを創り上げるための努力が続けられております。過去一年の間には、政治・安全保障、経済、地球規模問題といった分野において、より平和でより繁栄した未来へ向けた様々な進展が見られました。

しかしながら、世界には依然流動的な要素が多く、新たな国際社会の骨格は未だその全貌を現すには至ってお

りません。こうした中で、私は、昨年六月の総理就任以来、我が国が平和国家として、世界の人々がより平和で安定した生活を送ることが出来るような国際社会の建設のために積極的な役割を果たしたいと考えてまいりました。東西対立の時代が終わった今こそ、我が国が、その経済力、技術力をも活かしながら、紛争の原因となる国家間の相互不信や貧困等の問題の解消に向け、一層の貢献を果たすべき時であると考えております。

十三年前、OBサミットが創設された時、OBサミットが対処すべき課題として、第一に世界の平和と軍縮の問題、第二に世界の人口、地球環境、資源、エネルギーといった地球規模の問題、第三に世界経済の活性化の問題が挙げられ、以来一貫してこの三つの問題を討議して来られたと伺っております。そして今日、これらの問題が、まさに、世界の平和と繁栄のために各国の指導者が優先して取り組むべき課題となってきているのであります。

ここで先ず第一に、世界の平和と軍縮の問題について申し述べます。我が国は、昨年、北朝鮮の核問題について米朝間の「枠組み合意」が得られるなど前進が見られ、また、信頼醸成のための地域的枠組みとしてアセアン地域フォーラムが設立されたことを歓迎します。また、イスラエル・ヨルダン平和条約という、中東和平における画期的な成果が生まれたことは、誠に喜ばしいことで

あります。

その一方で、旧ユーゴやアフリカなどにおける地域紛争において、現実に戦闘が続いているのみならず、世界全体で難民が急増し二千六百万人にも達していることは、国際社会への重大な脅威となっております。我が国としては、こうした紛争の予防と解決に引き続き努力してまいります。国際社会においては、予防外交の重要性、望ましい平和維持活動のあり方について、国連を中心に討議が行われており、こうした面においても、今後O B サミットの活動の余地には少なからぬものがあると考えます。

また、軍備管理・軍縮と大量破壊兵器の拡散防止の分野における最近の大きな成果は、核不拡散条約の無期限延長が五月十一日に締約国会議の総意で決定されたことです。我が国は、不拡散、核軍縮、原子力の平和利用について将来の道筋が示されたことを、これまでの不拡散体制を強化するものとして歓迎するとともに、今後、核保有国による核軍縮が一層進展することを強く期待します。

我が国は、第二の分野である環境や人口、麻薬、エイズ等の地球規模の問題を、人類全体にとっての深刻な社会問題ととらえております。これらの問題については、過去一年弱の間に人口、エイズ、社会開発に関する世界会議が開催され、九月には女性に関する会議が予定され

ており、多国間の協力の下で問題への取り組みを進める機運がかつてないほど高まっております。私は三月のコペンハーゲンでの社会開発サミットに出席し、各国が最も重視すべき政策視点として、人間優先の社会開発、教育、訓練などの人づくり、市民社会全体による社会開発への積極参加の三つを主張してまいりました。

第三に、世界経済については、先進国経済の回復、一部開発途上国の目覚ましい経済発展の維持など明るい動きが広まっております。我が国は、今年一月に発足した世界貿易機関を多角的自由貿易体制の中核となる国際機関として、盛り立てていく考えであります。さらに各地域における地域協力も大きく進展しています。我が国は今年の十一月に大阪においてAPECの閣僚会議及び非公式首脳会議を主催することになっておりますが、この会議において、貿易・投資の自由化と円滑化の促進や、この地域の発展基盤の整備等の協力の前進のために重要な役割を果たすこととなるでしょう。

本年は第二次大戦終了五十周年であり、国連創設五十周年であります。我が国としては、国連が新しい時代に適応するためにはその機能を強化、改革することが必要であると考えております。このような観点から、現在、国連において行われている、安保理改革、国連の財政基盤の強化のための財政改革、開発問題をはじめとした経済・社会分野の機能強化の議論を重視しております。来

月カナダのハリファックスで予定されております先進国首脳会議においても、我々出席者は「国際機関の見直し」を一つのテーマとして議論していく予定であります。

今回のOBサミット総会の結果、主要な国際機関の強化のあり方について、現在行われている国連等の場における議論の進展につながるような提言を皆様からいただいたことを期待しております。

それぞれの国で国政の最高の責任を担ってこられた皆様方が、その豊かな経験と深い思索をもって狭い国益を離れた自由な立場から、国際社会の抱える問題について大局的かつ将来を展望した提言を行い、実り多い成果を生み出されることを私は確信するものであります。この総会の結果は、我が国のみならず、各国の政府によって大きな期待をもって受け止められるものとなりましょう。

西暦二千年まで残すところ五年足らずです。二十一世紀に向けて、新たな時代の指針を提示し得る国際フォーラムとしての、このOBサミットの今後の発展をお祈りし、また、御列席の皆様方の益々の御健勝を祈念して、私の挨拶に変えさせて頂きます。